

# ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



## 運用責任者メッセージ

7月の内外株式市場は、世界的に堅調な相場展開が続きました。特に米国ではNYダウが歴史上過去最高と並び13連騰となり、サマーラリーの様相でした。7月後半は、中央銀行ウィークと言われた日・米・欧の金融政策決定の会議が続きました。米・欧ではともに0.25%の利上げが決定され、日本でも日銀によるYCC（イールドカーブ・コントロール）の運用が柔軟化されました。国内株式市場は、大きく上昇した後の上値の重い調整期間となりましたが、日銀のサプライズ的な金融政策の調整を消化し、月間の下げ幅を縮めて終わりました。

当ファンドは、中期的に大きく変化する企業への投資を行っています。インバウンド需要の拡大を見込んで投資を続けてきましたサンリオ、三越伊勢丹HDが株価の上昇とともに組入上位に登場しています。さまざまなテーマが株式市場で話題になりますが、産業構造や社会の大きな変化を捉えて企業価値を向上させる銘柄へ投資を続けています。引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2023年7月運用報告動画もぜひご覧ください

<https://youtu.be/OZrWticksw8>



### ◎新NISA一億総株主時代の幕開け～長期投資でつくる私たちの未来～

わたしたちコモンズ投信の新NISAに対するスタンスと取組みについてのメッセージをまとめました。新NISAが「誰もが当たり前資産形成を行う時代」を大きく後押しするものと考え、その中で私たちは資産形成のその先にあるお仲間一人ひとりの幸せの実現に寄り添える存在でありたいと思っています。今後のコモンズ投信に、ぜひご期待ください。

<https://www.common30.jp/customer/1599/>



## 基準価額の推移

2013年12月27日 ～ 2023年7月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



## 運用実績

2013年12月27日 ～ 2023年7月31日

### 基準価額

25,039 円

(前月末比)

+105 円 (0.42%)

### 純資産総額

83.0 億円

(前月末比)

+0.5億円 (0.65%)

### 騰落率(分配金込)

| 期間   | 騰落率     |
|------|---------|
| 1 ヶ月 | 0.42%   |
| 3 ヶ月 | 9.69%   |
| 6 ヶ月 | 9.38%   |
| 1年   | 12.55%  |
| 3年   | 36.86%  |
| 5年   | 54.11%  |
| 10年  | -       |
| 設定来  | 153.65% |

### 分配金（1万口当たり、税引前）

| 決算期      | 分配金  |
|----------|------|
| 2018年12月 | 0円   |
| 2019年12月 | 120円 |
| 2020年12月 | 150円 |
| 2021年12月 | 0円   |
| 2022年12月 | 0円   |
| 設定来合計    | 270円 |

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



## ポートフォリオの状況

### ポートフォリオの構成別比率

|     |       |
|-----|-------|
| 株式  | 97.5% |
| その他 | 2.5%  |

### 市場別比率

|         |       |
|---------|-------|
| 東プライム   | 82.4% |
| 東グロース   | 8.0%  |
| 東スタンダード | 7.1%  |
| その他     | 2.5%  |

### 業種別比率

|        |       |
|--------|-------|
| 情報・通信業 | 20.5% |
| サービス業  | 17.2% |
| 電気機器   | 16.2% |
| 小売業    | 11.8% |
| 卸売業    | 8.0%  |
| 化学     | 5.5%  |
| その他製品  | 4.6%  |
| 非鉄金属   | 3.3%  |
| 輸送用機器  | 3.2%  |
| 機械     | 3.1%  |
| 不動産業   | 2.0%  |
| その他金融業 | 1.3%  |
| 医薬品    | 0.8%  |
| その他    | 2.5%  |

### 組入上位10銘柄

|   | 銘柄       | 業種     | 銘柄概要                                                                                                                                                                                               | 組入比率 |
|---|----------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1 | ソニーグループ  | 電気機器   | 世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。                                                                                                  | 3.0% |
| 2 | サンリオ     | 卸売業    | 1960年の創業以来の理念は「みんななかよく」。ハローキティ、シナモロール、クロミ、ポムポムプリンなど、世界中で愛されるIP（キャラクターなどの知的財産）を豊富に保有し、物販事業、ライセンス事業、テーマパーク事業などを手がける。組織風土改革および構造改革、成長に向けた種まきで、未来への創造と挑戦を続ける。                                          | 3.0% |
| 3 | 任天堂      | その他製品  | 1889年創業。1980年、任天堂初の携帯型ゲーム機「ゲーム&ウオッチ」を発売。1983年、家庭用テレビゲーム機「ファミリーコンピュータ」を発売。ハード、ソフト一体で世界に発信。その後、「ゲームボーイ」、「ニンテンドーDS」、「Wii」、「Wii U」、2017年、持ち運べる家庭用テレビゲーム機「Nintendo Switch」を発売。目指すのは、「娯楽を通じて人々を笑顔にする会社」。 | 3.0% |
| 4 | KADOKAWA | 情報・通信業 | 1945年創業。企業スピリットは、変化を恐れずに挑戦し続ける心。文芸出版社の時代、文庫と映画のメディアミックスの時代、雑誌の時代などで存在感を発揮。2014年にドワンゴと経営統合、「ニコニコ動画」などドワンゴのプラットフォームとKADOKAWAのコンテンツを融合、デジタルコンテンツ・プラットフォーマーとして、中長期的な成長を目指す。                            | 2.9% |

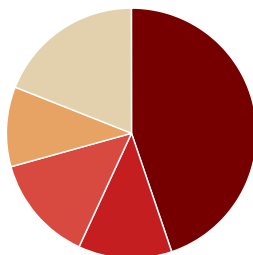
|    |               |        |                                                                                                                                                                                       |      |
|----|---------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 5  | 双日            | 卸売業    | ニチメンと日商岩井が統合し、2003年設立。2030年に目指す姿は、事業や人材を創造し続ける総合商社。経営陣と従業員のコミュニケーションを重視し、従業員の当事者意識が高まってきている点、投資に対するモニタリング体制強化などで、成長投資のリターンを高めようとしている点、など注目ができる。将来利益に対する期待値を高めていこうと全社一丸となって取り組んでいる。    | 2.9% |
| 6  | 三越伊勢丹ホールディングス | 小売業    | 三越伊勢丹HDは、国内20店舗・海外27店舗の百貨店を中核に据えながら、クレジット・金融など幅広い事業を営む。長期的に目指す姿は、「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」。特に、伊勢丹新宿本店は徹底的にファッションを追求し、三越日本橋本店は伝統・文化芸術・暮らしを強みとした店舗を構築。                      | 2.9% |
| 7  | アドバンテスト       | 電気機器   | 半導体後工程試験装置市場の世界最大手で海外売上高比率95%超のグローバルメーカー。積極的なM&A戦略で業容を拡大しています。半導体の更なる微細化や性能向上が進むにつれて半導体検査装置への設備投資が拡大する中、積極的な研究開発投資により装置の性能向上を図り、半導体メーカーなど顧客からのハイレベルな要求に応えていくことで更なるシェア拡大を目指します。        | 2.7% |
| 8  | コナミグループ       | 情報・通信業 | 1970年代初期のアミューズメント機器（アーケードゲーム）の製造販売から始まり、家庭用ゲーム機向けコンテンツの制作、モバイル端末向けモバイルゲームの制作・配信を開始。ゲーム事業の特徴は、野球やサッカーといったスポーツ系に強い。また、スロットマシンやカジノマネジメントシステムの開発・製造・販売、スポーツクラブの運営および公共スポーツ施設の管理運営なども手がける。 | 2.7% |
| 9  | レーザーテック       | 電気機器   | 1960年創業、半導体関連検査装置の開発、製造、販売、サービスの提供を主軸とするメーカー。“強さが発揮でき、成長できる分野に経営資源を集中する”との経営方針の下、ニッチ市場に特化し、技術力を背景に高いシェアを獲得。半導体の微細化など半導体製造工程の複雑化につれて需要拡大が見込まれ、業績拡大フェーズ入りへ。                             | 2.6% |
| 10 | デクセリアルズ       | 化学     | 1962年にソニーケミカルとして創業、2012年にソニーから独立し現社名に。従来はモバイルITのディスプレイ材料がコア事業で、業績が安定しないイメージが強かったが、現在の新社長が社長に就任した2019年以降、大胆な経営陣の若返りを図るとともに、注力する差異化技術製品への経営資源のシフトを進めた結果、事業ポートフォリオが劇的に変化して高成長・高収益企業に転換。  | 2.6% |

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。  
※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。  
※その他とは現金等を指します。  
※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



## 時価総額別構成比

### 時価総額別構成比



● 1000億円未満：44.8%  
● 5000億円以上1兆円未満：10.3%

● 1000億円以上3000億円未満：12.1%  
● 1兆円以上：19.0%

● 3000億円以上5000億円未満：13.8%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



## 市場概況

7月前半の日本株は軟調な展開となりました。3日に発表された日銀短観で大企業製造業の業況判断が前回調査から改善したことが好感されて大幅高で始まりましたが、その後は米国の金融引締め長期化に対する警戒感から目先の利益確定売りが先行し下値模索の展開となりました。

7日発表の6月米雇用統計で雇用の堅調さが示され、米長期金利が上昇、米国株安から翌週も売りが先行し、12日に日経平均株価は一時32,000円を割り込みましたが、12日発表の米消費者物価の上昇率鈍化が確認され、米国株が上昇したことで一旦は下げ止まりました。

後半は反発に転じました。18日に日銀植田総裁が、長短金利操作の修正観測について否定的な意見を述べたことからドル円相場で円安が進み日本株が上昇、翌週に米欧の中央銀行がそろって利上げを行いました、追加利上げ観測の後退によって米欧株の上昇とともに日本株も上昇しました。

28日の日銀金融政策決定会合で、長短金利操作について、これまでの長期金利の上限を1.0%に拡大したことで債券相場が下落、当日の日経平均株価も大幅下落となりましたが、週明け31日は、その操作について柔軟な対応がとられるとの認識から債券相場が反発、ドル円相場も円安となったことで日本株も大幅反発となり、日経平均株価は33,000円台を回復、前月比16円安（-0.05%）の33,172円で取引を終えました。



## 運用状況

7月、当ファンドは+0.42%の上昇となりました。組入銘柄の中では5%以上上昇した銘柄が12社ありパフォーマンスに貢献しました。組入上位銘柄の騰落率では、サンリオ+7.33%、双日+6.23%が上位2銘柄、任天堂▲1.41%、レーザーテック▲0.46%が下位2銘柄となりました。上場来高値を更新した銘柄は3社ありました。また、年初来高値を更新した銘柄は21社ありました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+1.49%の上昇、日経平均株価は▲0.05%、東証マザーズは▲4.74%の下落となりました。なお、当月は新たにポートフォリオに加えた銘柄はありませんでした。株式組入比率は97.5%（前月末比+0.3%）としています。

◆2023年7月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/OZrWticksw8>

2023年7月運用報告動画







### 【MOTTAINAI！インフラ補修】

はじめまして、運用部 奥と申します。イカとグミと車が好きです。初回はインフラ補修に光を当てようと思います。

笹子トンネルの天井板崩落事故を覚えていますでしょうか。老朽化と不十分な補修が原因であの事故が起きたとされています。事故から11年経ち、高度成長期(1955年頃～1973年頃)に多く作られたインフラはすべて50年以上になっています。国土交通省の資料\*1によると、2030年・2040年の3月時点で建設から50年を迎える道路橋はそれぞれ約55%・75%、港湾施設で約43%・66%を占めます。この高い割合は2000年代以降に公共工事が削減された事も要因の一つです。

海外ではアメリカに前例があります。1930年代のニューディール政策で整備されたインフラの保守が十分ではなく、1980年代に老朽化問題が深刻化しました。橋に重量制限が課され、学生がバスを降りて徒歩で渡っていた記録\*2があるようです。増税とメンテナンス投資枠の確保を行い、補修に充当しました。イギリスでは今道路のポットホール(穴ぼこ)が社会問題化しています。自動運転どころではないとして予防の重要性が認識されています。一方中国では、日本の4倍程の重量のトラックが走っていると言われており、いずれ補修問題が顕在化することが予想されます。

日本は予防保全に本腰を入れています。予防保全への移行で30年間の総費用が約3割減る試算\*3があり、費用を抑える意味が大きいようです。ただ、インフラの過半数を管理する地方公共団体の体制は十分ではありません。2022年時点で全国の土木職員は約5万人\*4で、ピークの1996年の4割ほどです\*4\*5。2017年時点では全体の約3割は技術系担当者なしで対応しています\*6。

こうしたインフラの老朽化と補修需要増大の中、施工・素材会社やコンサルティング能力のある会社にも注目しています。建設業界の2024年問題(労働時間規制強化による人材難)や、過去に業界が懸念されたコンプライアンスやガバナンスには注視していきます。メンテナンス環境の変化にも熱い視線を送っています。ドローンの普及でダムなどの安全な点検が可能になり、AI(人工知能)の発達で点検技術の属人性からの解放と効率化も進んでいます。人が行う高所作業はいつの日か消えるかもしれません。

道路も環境が変わってきています。CO2低排出・長寿命の工法・材料の引き合いが強まっているようです。予想としては、EV(電気自動車)は重いため舗装が痛みやすくなり得ます(現段階でも過積載トラックの問題が指摘されています)。また、路面埋込式ソーラー発電の時代が来て、無線給電しながら透明プラスチックの道を走る妄想をするとすごくワクワクします。一方で夏の路面温度が高すぎて、海外ではアスファルトが溶けたというニュースを耳にします。東京五輪で注目された遮熱性舗装や、先進諸国に多いコンクリート舗装が今後重要になるかもしれません。世界一と称される日本の舗装の行く末からも目が離せません。

#### 【参考資料】

\*1 国土交通省 社会資本の老朽化の現状

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/\\_pdf/roukyuukanogenjou.pdf](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/_pdf/roukyuukanogenjou.pdf)

\*2 国土交通省道路局 「荒廃する日本」としないための道路管理 p15

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h25/hakusho/h26/html/n1132000.html>

\*3 国土交通省 インフラ長寿命化計画(行動計画) p5

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/\\_pdf/tyouzyumyou2honbun.pdf](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/_pdf/tyouzyumyou2honbun.pdf)

\*4 総務省 令和4年職種別職員数(総職員)(北海道～沖縄)

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_gyousei/c-gyousei/teiin/index.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/teiin/index.html)

\*5 国土交通省 市町村における持続的な社会資本メンテナンス体制の確立を目指して 参考資料 p3

<https://www.mlit.go.jp/common/001080915.pdf>

\*6 総務省 社会資本の維持管理に関する取り組み p9

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000578735.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000578735.pdf)



運用部 奥 翔子



## コモンズPOINTからのお知らせ

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみコモンズPOINTでは現在、一般社団法人日本障がい者乗馬協会を応援しています。

(一社)日本障がい者乗馬協会について→<https://jrad.jp/>

コモンズPOINTについて→<https://www.common30.jp/fund2020/point.php>

### 【パラ馬術に挑戦してみませんか？】

東京パラリンピックを機に、パラ馬術に挑戦したいという方が増えてきているそうです。パラ馬術は、パラ馬術選手として日本障がい者乗馬協会や日本馬術連盟が認定を行い、その後、障がいの程度に合わせグレード分け（GⅠ～GⅤ）がなされて初めて主催競技会に参加出来ます。

そして、その為にはクラシフィケーションという認定員による診断が必要です。

7月、要望のあったコルザホースクラブ（千葉県八街市）にクラシフィア（認定員）が派遣され、クラシフィケーションが実施されました。日本障がい者乗馬協会は、このクラシフィケーションについて随時受け付けを行っておられます。

是非パラ馬術に挑戦したいという方は同協会までお問合せ下さい。

お問合せ先：[info@jrad.jp](mailto:info@jrad.jp)



11月3日には同協会にご協力いただき、昨年同様、コモンズ投信主催の御殿場での大会観戦イベントを企画しています。

ご関心があられる方はぜひご参加ください（9月中旬募集開始予定）。

ソーシャル・エンゲージメント・リーダー 馬越 裕子



## お知らせ

### Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

◆2023年7月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/OZrWticksw8>

#### □PCV x コモンズ平和ツアー2023

8月12日 (土) 10:00~11:00



#### □こどもトラストセミナーで【セブン&アイ】を体験しよう! 2023

8月20日 (日) 10:00~14:00

#### □【ソニー銀行主催】

新NISA 制度内容から活用方法まで

8月3日 (木) 19:00~19:40

□こどもトラストセミナー | 子どもでもできる家事で、明日の暮らしを快適に! -学んで、作って、おいしい時間-

~コモンズ30ファンド投資先企業「リンナイ株式会社」ほっとラボ横浜体験ツアー~

8月5日 (土) 10:30~12:30

#### □新NISAの活用方法 (昼の部)

8月15日 (火) 13:30~14:00

#### □新NISAの活用方法 (夜の部)

8月15日 (火) 20:00~20:30

□制度終了だからこそ活用したいジュニアNISAと教育費づくり

8月16日 (水) 10:00~10:30

□【伊予銀行主催】いよぎん人生100年時代セミナー

知っとク! NISA活用術

8月19日 (土) 10:00~11:00

□えんがおさんの流しそうめんを手伝おう! @栃木県 大田原

8月20日 (日) 10:00~15:00

□渋沢栄一に学ぶ豊かなお金の使い方

~こどもトラストセミナー 親子で楽しく学べるおかね入門~

8月26日 (土) 10:00~11:30

□コモンズの視点 ~企業のミカタ~  
味の素のご紹介

8月30日 (水) 20:00~20:30

※詳細はコモンズ投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を[YouTube「COMMONSTV」](#)にて配信しております。

ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします! ☆





## 販売会社一覧

| 販売会社名                                 | 登録番号                     | 加入協会              |                         |                         |                            |
|---------------------------------------|--------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                                       |                          | 一般社団法人<br>日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資顧問業<br>協会 | 一般社団法人<br>金融先物取引業<br>協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |
| 楽天証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○                 | ○                       | ○                       | ○                          |
| マネックス証券株式会社                           | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○                 | ○                       | ○                       | ○                          |
| 株式会社SBI証券                             | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号  | ○                 |                         | ○                       | ○                          |
| 株式会社静岡銀行                              | 登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号     | ○                 |                         | ○                       |                            |
| 岡三証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号  | ○                 | ○                       | ○                       | ○                          |
| とちぎんTT証券株式会社                          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号  | ○                 |                         |                         |                            |
| 松井証券株式会社                              | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号 | ○                 |                         | ○                       |                            |
| auカブコム証券株式会社                          | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号  | ○                 | ○                       | ○                       | ○                          |
| 京都信用金庫                                | 登録金融機関 近畿財務局長（登金）第52号    | ○                 |                         |                         |                            |
| PWM日本証券株式会社                           | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号  | ○                 |                         |                         | ○                          |
| 株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社） | 登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号    | ○                 |                         | ○                       |                            |
| 東海東京証券株式会社                            | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号 | ○                 |                         | ○                       | ○                          |
| 百五証券株式会社                              | 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号 | ○                 |                         |                         |                            |



## ザ・2020ビジョンのリスクについて

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

### 基準価額の変動要因となる主なリスク

|         |                                                                                                                                                                        |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 株価変動リスク | 当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。                                           |
| 流動性リスク  | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。 |



## その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



## ザ・2020ビジョンの費用について

### 投資者が直接的に負担する費用

|              |                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 購入時手数料       | (コモンズ投信の場合) ありません。<br>(委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。                                                                                                       |
| 換金手数料        | ありません。                                                                                                                                                                                                                  |
| 運用管理費 (信託報酬) | ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。                                                                                                                  |
| 信託財産留保額      | ありません。                                                                                                                                                                                                                  |
| その他の費用・手数料   | 当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。 |



## お申込みメモ

その他

|             |                                                                                                                                                              |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類        | 追加型投信/国内/株式                                                                                                                                                  |
| 信託設定日       | 2013年12月27日                                                                                                                                                  |
| 信託期間        | 無制限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）                                                                                                    |
| 決算日         | 原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)                                                                                                                       |
| 分配方針等       | 毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。 |
| 購入単位        | （コモンズ投信の場合）1万円以上1円単位<br>（委託会社が指定した販売会社の場合）販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。                                                                                   |
| 購入価額        | 換金申込受付日の基準価額                                                                                                                                                 |
| 換金単位        | （コモンズ投信の場合）1円以上1円単位<br>（委託会社の指定した販売会社の場合）販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。                                                                                  |
| 換金価額        | 換金申込受付日の基準価額                                                                                                                                                 |
| 換金代金の支払い開始日 | 換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。                                                                                                                                  |
| 申込締切時間      | 購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。                                                                                                   |



## ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身の判断でお申し込みください。



## 関係法人

### 委託会社

コモンズ投信株式会社  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先  
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）  
03-3221-8730  
■ウェブサイト  
<https://www.common30.jp/>